

年 月 日

当院外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「 腰椎分離症患者の分離椎弓における解剖学的特徴の探索 」 へのお願い

整形外科では、下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2012年04月01日～2024年2月29日の間に、当院において、腹部骨盤部（腰椎含む）のCTを施行された0歳～40歳の患者さん

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2027年3月31日

研究目的・利用方法：

腰椎分離症は下部腰椎椎弓の関節突起間部およびその周囲の疲労骨折として発症すると言われています。発育期のスポーツ障害と言われており、過度な負荷が腰椎に加わるにより起こるとされています。しかし、臨床において健常患者と形態が異なるように感じることもあり、この相違点の有無を調査します。

研究に用いる試料・情報の項目：

当院小児科・内科・外科・整形外科・救急外来で撮影された0歳—40歳の患者さんのCTにて骨盤部まで撮像されているものを用いて観察・評価を行います。

以下の情報をCTデータから取得します。

なお、撮影されたCTはDICOMで撮像日時・氏名・患者IDを削除して用います。

・L5椎弓峡部（関節突起間部）長径・短径・断面積

以下の情報を電子カルテから取得します。これらはいずれも日常診療によって得られた項目です。

・年齢・性別

情報の利用を開始する予定日：

2024年3月8日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐

岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 整形外科
氏名：野澤 聡

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 整形外科
電話番号：058-230-6333
氏名：石塚 恭平

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係
〒501-1194
岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1
Tel：058-230-6059
E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp